

# 木知原の今昔!

20号: 5・8・18

## 上岩崎神明

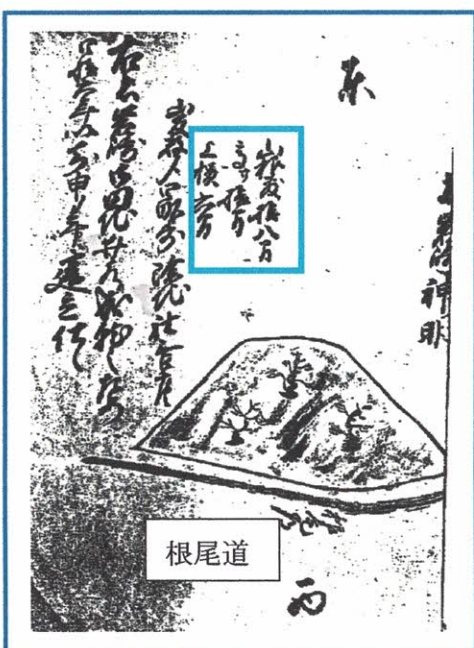


♥ やっと20号までできました。  
うまくまとめられないが、体力や  
オツムと相談しながらもう少し続け  
たいと思います。ご笑読下さい。

江戸時代の絵図に画  
かれている上岩崎神明。

**上** 岩崎神明は2号で紹介済であるが再度参考資料を付け加えての今昔号です。神明とは「山神」ではなく「安全祈願」を願って「天照大神」を祀った宮のことである。

元禄二年(1689年)の記録にある「四十六年以前申の年」とは正保元年(1644年)であり「岩崎御田地井水成就之為ニ」とあるから隧道工事を始めた直後に祀られていることが分かる。



上岩崎神明  
此反敷ノ四畝歩 除地 社志御座候  
右八岩崎御田地井水成就之ためニ  
四十六年以前申ノ年建立仕候

宮地面積が四畝分とあるから約4aの土地を確保して祀られていた。

場所は絵図からであるが大岩の少し手前の山側と思われる。

普請奉行お声がかりの大事業成就を願って祀られた神明であるが痕跡は何も残っていなかった。

『多分大水で流されたのだろう』と思っていたが大当たりであった。

### 奇跡の大発見!!

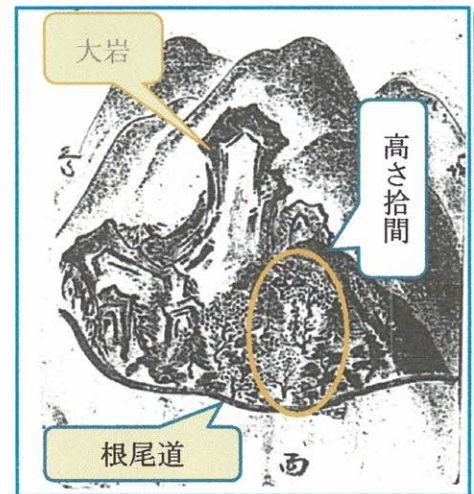
「谷汲山大橋工事で見つかった木知原の石碑が下長瀬に祀られている」と聞き飛んで行きビックリ!

石碑には「知原神宮」と刻まれており「上岩崎神明」の石碑に間違い無いと確信し思わずなでました。

いつの大水か分からないが木知原発展の礎となった宝物が400年後に見つかり大発見である。

絵図には石碑の周囲の杉や雑木が画かれているが、それにしても見事な岩場で「大岩≡おいわ」と呼んでいただけのことはあると見とれるほどである。

道路拡幅等で削り取られているが面影は残っている。



石碑が下長瀬まで流されたのは、当時の根尾道が大岩の迫る川側(川原)を通っておりその道脇に祀られていたからと思う。絵図に柳が画かれているのもうなずける。

大洪水は1650年(慶安3年)と1768年(明和5年)の2回起きているのでそのどちらかの大水で流されたものと思われる。根尾川の自然石で素敵なお石碑である。是非御一見!

独り言『橋工事期間中の3ケ年間遠隔地勤務で全く知らなかった。木知原に祀りたかったな～寂しい!』